熊本市立植木北中学校学校だより　第１６号

日　進　月　歩

令和８年９月２４日（木）
校長　坂本正二
「可能性は無限大（∞）」
植木北中 HP→

「少年の主張」熊本県大会

9月5日（土）、第48回「少年の主張」熊本県大会がホテル熊本テルサで開催され、本校２年生が、熊本市代表として出場しました。今年度は 701 点の応募があり、その中から各郡市の代表 12 名が選ばれ、家庭や学校、地域、社会との関わりの中で考えたことや社会への提言を約5分間にわたり、自分の言葉で発表しました。

生徒は、**「私の攻略本」**と題し、家族の中でお兄さんやお姉さんの姿から学んだことや、学校生活での経験を通して、「自分にはどんな力があるのだろう」と問い続けながら、自分らしさや個性に気づいていったことを、わかりやすく素直な言葉で発表してくれました。表情豊かにジェスチャーも交えながらの発表は大変素晴らしく、聞いている人を引きつけるものでした。発表後に感想を聞くと、次のように話してくれました。

「大銭の人の前で発表するので、少し緊張しましたが、自分なりに精一杯表現し、話すことができました。審査員の視線にも負けず、全力を出し切ることができました。壇上に上がってみると、それほど緊張することもなく、自分の一番よい姿を見せることができたと思います。『自分ならできる』と言い聞かせて臨んだからこそ、最後までやり切ることができたのだと思います。来年もチャンスがあれば挑戦し、今回を超える結果を残したいです。」

結果は入選で、九州大会に進むことはできませんでしたが、堂々とした素晴らしい発表でした。大会では障がいや災害などの困難に負けず努力した経験や、災害からの復興に向けて歩み続ける地域の姿、家族や友人、地域とのつながりを通して感じた成長など、それぞれの願いや思いが語られ、どの発表も感動的なものでした。

この大会は長い歴史を持つ伝統ある大会で、例年5月から6月にかけて作品募集が行われ、7月に提出された原稿の中から代表者が選考されます。来年度は、より多くの皆さんが自分の思いや考えを言葉にし、挑戦してくれることを期待しています。

試飲会（３年生総合的な学習）

9月４日（金）、3年生の総合的な学習の時間に一般社団法人植木温泉観光旅館組合の企画による「抹茶ラテ試飲会」が開催されました。当日は、当団体より２名の方を本校にお迎えし、抹茶ラテを提供していただきました。この企画は、地域活性化に向けた取り組みを中学生に紹介するとともに、商品開発に当たり中学生の意見を取り入れたいという思いから計画されたそうです。抹茶を茶筅で丁寧に点て、甘いミルクで割ったラテに、あんことわらび餅をトッピングした一杯に、子どもたちは大喜びでした。甘党の私も試飲させていただきましたが、とてもおいしくいただきました。試飲後には、子どもたちはアンケートに回答。生徒に感想を聞くと**「このような楽しい企画をしていただき、ありがたかったです。抹茶ラテはとてもおいしく、感動しました。中学生活の思い出が一つ増えました。これからも植木町の活性化のために頑張っていただきたいです。私たちも自分たちにできることを頑張りたいと思います。」**と話してくれました。3年生にとっては、地元の魅力や地域活性化に向けた活動について学ぶ貴重な機会となりました。地域の方々の思いに触れることで、自分たちの住む植木町について改めて考える機会になったことと思います。